

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明了は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4110010	星槎学	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	必修	1	8	10	1	5	0	「星槎」が、必要とされる人々のために新たな道を創造し、人々が共生する社会の実現を目指し、成し遂げてきたその歴史や取り組みについて知り、「共生」や「共感理解教育」について学修します。		○	○	
4110020	共生科学総論	Webライブもしくはオンデマンド+Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	必修	1	8	10	1	5	0	人と人、人と多文化、国と国との共生について、様々な分野や領域から考える科目です。身近な話題や普段あまり触れない情報も踏まえ、多様な角度から考えてみましょう。		○	○	「共生科学概説（1）（期間限定）」または「共生科学概説（2）（期間限定）」を履修
4120010	共生科学教育論	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	2-3	8	10	6	5	0	教育・学習という行為は生活のさまざまな場面で現れます。共生社会を構築するための教育とは何かを対話を通して考えます。教育を専門としていない学生も是非受けてください。特に初年次の学生に推奨します。		○	○	
4120020	共生科学環境論	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	2-3	8	10	6	5	0	私たち人間にとって人と自然が、より良い関係を築き、持続可能な地球社会を実現していくために、私としてあなたが、どのような見方・考え方をもち、行動していくのかを考えていくための基礎として、宇宙を理解し、地球を理解しながら、自分とそれを取り巻く環境について一緒に考えていきましょう。		○	○	
4120030	共生科学国際協力論	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	2-3	8	10	6	5	0	途上国の実情、日本の経済協力、いのちや健康に関する世界の課題、PKOなどの人的貢献、ODAによる国際貢献、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊、NGO等の活動について、経験を踏まえて紹介し、共生的な世界を築くための国際協力のあり方を議論します。		○	○	
4120040	共生への対話	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	1	8	10	1	5	0	共生とは何か、どうすれば実現するのか、あなたの考えを語り、みんなの話に耳を傾け、できることから始めましょう。本科目はその第一歩です。特に初年次の学生に推奨します。		○	○	
4120050	レポートゼミ（基本）	オンデマンド	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	1	8	10	1	5	0	レポートの書き方を修得することを目的とします。特に、自身が学んだことや調査したこと、自身の主張や意見を適切に言葉にする基本技術を実践的に学びます。なお、スクーリングではグループディスカッションを行います。		○	○	
4120060	レポートゼミ（演習）	Webライブ	2	0.5	共生科学基盤科目群	選択必修	2-3	8	10	6	5	0	レポートの書き方を修得することを目的とします。レポートゼミ（基本）を踏まえて、どのような設計図を用いれば、レポートがわかりやすくスムーズに書けるのかを実践的に学びます。なお、スクーリングでは一部の学生による発表も行います。		○	○	
4120070	キャリアデザイン入門	Webライブ	1	1	共生科学基盤科目群	選択必修	1	8	10	1	3	0	ダイバーシティ&インクルージョン・起業・副業・フリーランスなど、「しごと」との向き合い方も多様になってきました。日々大きく変化していく社会を生きるための、キャリアデザインの入門編として、実践ワークやインタビューなどを通して自分オリジナルの生き方・働き方・学び方をさまざまな視点から学び、考えていきます。		○	○	
4120080	キャリアデザイン基礎	Webライブ	1	1	共生科学基盤科目群	選択必修	2-3	8	10	6	3	0	『生き方学』として、自分はどういう人間なのか、何を大切に生きていくのか、どんな働き方がしたいのかを、実践ワークの中から考え、自分を磨きます。自己理解からスキルアップ・実践まで学んでいきます。		○	○	
4220010	共生研究	Webライブ	4	1	共生科学発展科目群	選択必修	4	8	50	0	5	0	星槎大学の学びの集大成の科目のひとつです。研究指導教員による指導の下、スクーリングでのディスカッションを通じて、共生・共生科学に関するテーマについて研究を行った成果を共生研究論文あるいは共生に関する制作（報告書含む）とまとめることを目指します。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。学生ハンドブックをご確認ください。	原則不可	原則不可	
4220020	卒業論文	Webライブ	6	2	共生科学発展科目群	選択必修	4	8	50	0	5	0	星槎大学の学びの集大成の科目のひとつです。研究テーマの専門分野の教員が主研究指導教員となります。研究計画、実施、進捗状況の共有、構成について研究指導を受けながら、専門的に研究を深めた成果を卒業論文としてまとめることを目指します。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。学生ハンドブックをご確認ください。	原則不可	原則不可	
4310010	ジョブ・スキル	Webライブ	2	0.5	教養科目群		1	8	20	1	5	0	現役高校教師であり、現在よしもの養成所でネタ講師を担当する放送作家が「お笑い・漫才の構成」や、「ツカミ」「コナシ」「オチ」などの表現方法を紹介します。また過去の漫才コンテストから、話題の進行・話し方による観客の興味を引く方法を分析し、より興味を引く表現の構成および表現方法を楽しみながら学ぶ。		○	○	
4310020	ボランティア活動	オンデマンド+Webライブ+実習	2	2	教養科目群		1	8	20	1	2	0	地域貢献だけでなく、支え合う共生社会の一員であると自覚し、目的を持ってボランティア活動を行います。そしてその実践を通じて課題探究能力の向上及び社会に貢献する奉仕の心の育成を行います。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。学生ハンドブックをご確認ください。	原則不可	○	
4310030	インターンシップ	実習	2	2	教養科目群		2-3	8	20	6	2	0	「働くとはどういうことか」について、実際に職場での体験を通して全般的に学んでいきます。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。学生ハンドブックをご確認ください。	原則不可	○	
4310040	アクティブラーニング・ファシリテーション	Webライブ	2	0.5	教養科目群		1	8	20	1	5	0	「主体的・対話的で深い学び」は、学校だけではなく、職場、地域等の21世紀のあらゆる場に必要です。アクティブラーニング及びファシリテーションについて、学生の興味関心に基づいて、グループワークを中心に実践的に学びます。		○	○	
4310050	カウンセリングⅠ	Webライブ	2	0.5	教養科目群		2-3	8	20	6	5	0	カウンセリングは相手が「よりよく生きる」ための手助けを行う活動で、主に学齢期を対象に「育てる」カウンセリングのために必要な知識と技術を学んでいきます。		○	○	「カウンセリングⅠ（期間限定）」を履修
4310060	カウンセリングⅡ	Webライブ	2	0.5	教養科目群		2-3	8	20	6	5	0	カウンセリングは相手が「よりよく生きる」ための手助けを行う活動で、主に成人期以降を対象に、その人が自分の生き方を受け入れて人生を歩むことができるように、知識と技術を学んでいきます。	理解を深めていただくため、「カウンセリングⅠ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	○	「カウンセリングⅡ（期間限定）」を履修
4310070	ソーシャル・マーケティング	オンデマンド	2	0.5	教養科目群		2-3	8	20	6	5	0	マーケティングの基本的なスキルを身につけることで、ターゲットとWin-Winの「共生」の関係を構築して、社会を変革する能力を身につけていきます。		○	○	
4310081	日本国憲法	-	2	0	教養科目群		1	8	20	1	1	1	国家にはなぜ憲法が必要なのか、憲法はどのような性質を備えていなければならないのか。こうした根源的なところに立ち返って学んでいきます。		○	○	
4310090	スポーツ（1）	会場orハイフレックス	1	0.5	教養科目群		1	8	20	1	4	1	さまざまな生涯スポーツを通して、自分自身の体力向上や健康の維持増進をはかるためにはどうすればよいかということを学んでいきます。		○	○	○

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※19・20は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い				
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤	
4310100	スポーツ（2）	会場orハイフレックス	1	0.5	教養科目群			1	B	20	1	4	1	自然の中で行われるスポーツや身体活動について、多面的な視点から分析し、スポーツのあり方について学んでいきます。		○	○		
4310110	英語コミュニケーション（1）	Webライブ	2	0.5	教養科目群			1	B	20	1	5	1	英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが使用している英語に焦点を当て、簡単に役立つ、外国人とコミュニケーションする方法を学びます。			○	○	
4310120	英語コミュニケーション（2）	Webライブ	2	0.5	教養科目群			1	B	20	1	5	1	英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが現在使用している英語に焦点を当て、英語コミュニケーションを修得し友達を作り楽しんでください。			○	○	
4310131	情報処理	-	2	0	教養科目群			1	B	20	1	1	1	ICT活用の基本となるワープロ（Word）、プレゼンテーションソフト（PowerPoint）、表計算ソフト（Excel）などを活用した教材づくり、校務情報処理へ適応するための学修、プログラミング教育へ適応するための学修をすすめていきます。			○	○	
4310140	データサイエンス（1）	Webライブ	2	0.5	教養科目群			2-3	B	20	6	5	0	高度情報化社会において、多くの情報が様々なデータから導き出されています。これからも変化し続けていく社会において必要なデータサイエンス（データの特性等）について、基礎から応用まで学んでいきます。			○	○	
4310150	データサイエンス（2）	Webライブ	2	0.5	教養科目群			2-3	B	20	6	5	0	高度情報化社会において、多くの情報が様々なデータから導き出されています。これからも変化し続けていく社会において必要なデータサイエンス（データの活用等）について、基礎から応用まで学んでいきます。			○	○	
4310160	特別支援教育論	Webライブ	2	1	教養科目群			1	B	20	1	5	1	社会の人々に共生の意識と価値観を醸成するにはどうすればよいかを思索しながら、特別支援教育の歴史、理念、制度、現状と課題、展望、インクルーシブ教育システム構築などについて学んでいきましょう。			○	○	
4310170	発達障害教育総論	Webライブ	2	1	教養科目群			1	B	20	1	5	1	LD、ADHD、自閉スペクトラム症、知的障害など発達障害は、認知発達の個人差を原因とします。認知発達を中心として発達障害を学修する科目です。			○	○	「発達障害概論（期間限定）」を履修 ※特別支援の教員免許取得のために科目を修得する方は新規履修してください。（再履修の場合は特別支援学校教員免許取得の単位としては有効になりません）
4310181	エシカル社会論	-	2	0	教養科目群			2-3	B	20	6	1	0	エシカル（倫理的）消費を通してエシカル社会について学びます。エシカル消費とは、SDGsを達成するためのサステナブルな取り組みの一つで、特にゴール12に関連しています。授業では、わたしたち一人ひとりの消費活動を見直し、人や社会、環境、あるいは地域・社会に配慮した消費について考えます。一緒に取り組んでみませんか。			○	○	2025年4月以降、再履修も不可
4310190	世界の見方とジャーナリズム	Webライブ	2	0.5	教養科目群			1	B	20	1	5	1	ポスト・トゥルースといわれる不透明な時代、何が真実なのか、うそなのか、重要性を増すジャーナリズム・メディアの役割を問い直し、フェイクニュースの見極め方を学びます。			○	○	
4310201	NGO・NPO論	-	2	0	教養科目群			2-3	B	20	6	1	0	ボランティア精神、清貧など善説で覆われているNGO・NPOについて、国際NGO、国連で活躍してきた著者の実践や考え方から、NGO・NPOについて考えてみましょう。			○	○	
4310210	歴史学入門ゼミ	Webライブ	2	1	教養科目群			1	B	20	1	5	0	身近なもの/できごとについて歴史的な文脈のなかで捉える実践的内容で、発表と質疑を通じて多面的なものの見方、他者の意見を取り入れる能力を養うことを目的とします。			○	○	「歴史学入門ゼミ（期間限定）」を履修
4310220	ジェンダー論	Webライブ	2	0.5	教養科目群			2-3	B	20	6	5	0	性別（gender）という概念を探究し、単に生物学的な性差だけでなくLGBTQ+や性別に関する社会的構築や不平等について焦点を当てていきます。			○	○	
4310230	特別ゼミナール	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	教養科目群			1-3	B	20	3	5	0	1つのテーマから「共生」への理解を深め、「主体的に学ぶ姿勢」を養うことを目的としています。教養科目群に位置付けており、専門的な内容よりは高校卒業程度のレベルの学生も学びやすい内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		○	○	「特別ゼミナール（期間限定）」を履修
4310241	共生課題研究	-	2	0	教養科目群			1-3	B	20	3	1	0	日常生活や社会活動、現場での学びの実習や演習などの学修を通じて、さまざまな問題・課題を「共生」という視点から捉え、教員の指導を受けながら、研究を深め、レポートとしてまとめます。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。学修指導書の案内をご確認ください。	原則不可	原則不可		
4410011	生涯学習論	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野		1	B	30	1	1	1	生涯学習が個人の自己実現から、社会の創造のために学ぶことへと変化している点を学びます。またこどもの教育学ではない、おとなの教育学を学びます。			○	原則不可	
4410021	ワーク・ライフ・バランス論	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野		2-3	B	30	6	1	1	ワーク・ライフ・バランスの考え方の家庭生活・仕事・余暇時間・地域への関わりといった要素をいかにバランスよく取り、人間として豊かな生活について送るかを考えていきます。			○	原則不可	
4410031	持続可能な開発のための教育（ESD）	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野		2-3	B	30	6	1	1	「持続可能な開発（SD）」は国内外で環境や開発（貧困）の問題を考えるうえで重要な概念です。そのための教育に何が必要か幅広い視野で見えていきます。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4410041	心理学（1）	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野		1	B	30	1	1	1	教員、社会福祉士など対人援助者として必要な心理学的な支援に関して、知識と技術等、広範囲に学修しながら、対人援助者としての態度も学んでいきます。			○	原則不可	
4410051	心理学（2）	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野		1	B	30	1	1	1	教員、公認心理師など、「こころ」に関し直接的にかかわる対人援助者として必要な知識と技術等を広範囲に学修しながら、「こころ」の援助者としての態度も学んでいきます。			○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※19・20は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数※1	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4410060	臨床心理学	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	30	6	5	0	「来談者中心療法」「交流分析」「行動分析」など、複数の心理学の理論にふれながら、「こころ」の時代を多面的に学んでいきます。		○	原則不可	「臨床心理学（期間限定）」を履修
4410070	認知心理学	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	30	6	5	0	認知とは、知的機能全般を意味し、人間の心と行動を理解することを目指しています。記憶のメカニズムをおおして、記憶することと理解することの違いについて学びましょう。		○	原則不可	
4410080	言語発達学	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	30	6	5	0	言語は、わたしたちが他者とコミュニケーションをとるうえで重要なツール（道具）です。話す、聞く、書く、読む、コミュニケーションについて、学びましょう。		○	原則不可	
4410090	歴史概説 I	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	B	31	1	5	1	「世界史の中の日本史」をテーマとし、日本が諸外国とどのような関係性の中で発展したかを考えることで歴史的知見や国際感覚を養います。		○	原則不可	
4410100	歴史概説 II	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	B	31	1	5	1	ヨーロッパ史を主なフィールドとし、出来事が「なぜ」起きたのか、どのような「影響」を及ぼしたのか、因果関係を重視して考えることで歴史的思考能力を養います。	理解を深めていただくため、「歴史概説 I」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4410110	日本史 I	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	5	1	日本史（原始・古代から中世）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。		○	原則不可	
4410121	日本史 II	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	1	1	日本史（近世から現代）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。	理解を深めていただくため、「日本史 I」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4410130	外国史 I	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	5	1	外国史は、広大な地理的概念を伴う。本講義では、最新の研究に依拠しつつ、いわゆる西洋史、東洋史に留まらず、グローバルヒストリーとしての外国史を各地域とのつながりを意識して捉えていく。		○	原則不可	
4410141	外国史 II	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	1	1	外国史は、広大な地理的概念を伴う。本講義では、最新の研究に依拠しつつ、いわゆる西洋史、東洋史に留まらず、グローバルヒストリーとしての外国史を各地域とのつながりを意識して捉えていく。	理解を深めていただくため、「外国史 I」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4410150	地理概説 I	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	B	31	1	5	1	地理学の基本事項を自然地理学の領域を中心に学び、自然環境と人間の生活との関わりを通して、世界の諸地域の地域的特色を理解していきます。		○	原則不可	
4410161	地理概説 II	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1	B	31	1	1	1	地理学の基本事項を人文地理学の領域を中心に学び、世界の諸地域の現状を理解するとともに、地域が抱える今日的な課題についても考えていきます。	理解を深めていただくため、「地理概説 I」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4410171	人文地理学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	1	1	我が国が抱える地理的諸課題や複雑な人間生活空間を考察していきましょう。		○	原則不可	「人文地理学（期間限定）」を履修
4410181	自然地理学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	31	6	1	1	自然地理学の地理学における位置、その系譜を考察し、地形図の作業を通して地表空間を理解していきましょう。		○	原則不可	「自然地理学（期間限定）」を履修
4410191	法学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	1	1	法とは何かという根源論に始まり、独自の法的な考え方、実定法の中で特に基本をなす憲法、民法、刑法、そして法と裁判の基礎的知識を学びます。		○	原則不可	
4410201	政治学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	1	1	さまざまな価値観をもった人びとが、共に生きていくために、話し合いをして物ごとを決める「政治」、その意味と重要性について考え、学びます。		○	原則不可	「政治学（期間限定）」を履修
4410210	社会学	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	5	1	観念の世界でなく、現実生起している社会現象を独自の道具を使って読み解いていきます。現代社会の問題について一緒に考えていきましょう。		○	原則不可	
4410221	医療社会学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	1	1	健康と病の社会的側面について、医療社会学の知見を基に学修していきます。病や障がいと共に生きることに考える基礎を学んでいきましょう。		○	原則不可	
4410231	経済学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	1	1	私たちを取り巻く今日世界の政治経済状況を、経済思想や経済分析を交えながらわかりやすく説明することを大きな狙いとしています。		○	原則不可	
4410240	哲学・倫理学	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	5	1	「人間とは何か？」「幸せになるにはどうしたらよいのか？」などの身近な問題を、哲学者・倫理学者の考え方をたどりながら、共に考える科目です。		○	原則不可	
4410251	宗教学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	1	1	世界の主要な宗教の歴史、特長を学び、基礎的な理解を目指します。宗教は人類の歴史とともにあり、さまざまな文化の形成に大きな役割を果たしてきました。多様な宗教文化をその歴史や、思想、哲学にも目を向けつつ考察します。		○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4410260	公共哲学	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1-3	B	31	3	5	1	より善き公正な社会を追究しつつ、現下で起こっている公共の問題を考えるために必要な「個人と社会の関わり方」について、みんなで考えるための科目です。		○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い			
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤
4410270	教育特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	共生科学専攻科目群	教育分野	1-4	8	31	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4400011	教育原理	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	1	8	32	1	1	1	教えること、学ぶことは不思議に満ちています。さまざまな不思議にじっくりと向き合いながら、一つひとつ自分なりの答えを探求授業です。			○	原則不可	「教育原理（中等）（期間限定）」を履修 ※「教育原理（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育原理（中等）」を修得したことになり、「教育原理」を修得したことにはなりません。
4400020	教職概論	オンデマンド+Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	8	32	1	5	1	教職とは何か。その根本に立ち返り、さまざまな視点で論じ考察します。「先生になりたい」という思いに肉づけをし、教育課題も取りあげます。授業では、対話や探究を通して、主体的な思考や深い学びを目指します。			○	原則不可	「教職概論（中等）（期間限定）」を履修 ※「教職概論（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育概論（中等）」を修得したことになり、「教育概論」を修得したことにはなりません。
4400030	教育経営・学校安全論	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2	8	32	5	5	1	初等・中等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。			○	原則不可	「教育経営・学校安全論（中等）（期間限定）」を履修 ※「教育経営・学校安全論（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育経営・学校安全論（中等）」を修得したことになり、「教育経営・学校安全論」を修得したことにはなりません。
4400041	教育心理学	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	2	8	32	5	1	1	教育心理学が「根拠に基づいて」子どもの発達を理解した上で教育を行うことを目指し、また、教育の場でのさまざまな問題を解決するための知識・技能・態度を修得することを目指していることについて学びます。			○	原則不可	「教育心理学（中等）（期間限定）」を履修 ※「教育心理学（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育心理学（中等）」を修得したことになり、「教育心理学」を修得したことにはなりません。
4400050	教育課程論	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	8	32	1	5	1	学校教育における教育課程の役割・機能・意義と教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、最新の教育課程の方向性とカリキュラム・マネジメントについて学びます。			○	原則不可	「教育課程論（中等）（期間限定）」を履修 ※「教育課程論（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育課程論（中等）」を修得したことになり、「教育課程論」を修得したことにはなりません。
4410330	道徳の理論・指導法（中等）	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2	8	32	5	5	1	主体的な判断の下に行動し、他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性の育成を目指す基礎を学び、指導計画や授業プランの作成、授業展開の構想など、実践的な指導力を身に付けます。			○	原則不可	
4410340	総合的な学習の時間の指導法（中等）	オンデマンド	1	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	5	1	総合的な学習の時間では、課題を見だし、情報を集め、整理・分析していく探究的な学修を進めます。このねらいを理解し、実践的な指導法の修得を目指します。			○	原則不可	
4410350	特別活動の指導法（中等）	オンデマンド	1	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	5	1	特別活動は、集団活動を通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の力を育みます。特別活動の考え方やすすめ方について学び、そこで求められる教員の実践的指導力を培うための基礎を学修していきます。			○	原則不可	
4410360	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	オンデマンド+Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	1	8	32	1	5	1	教育方法、授業づくりに関する基礎的事項、授業における情報通信技術の活用について理解し、授業の構想・設計ができることをねらいとしています。			○	原則不可	
4410370	生徒・進路指導論（中等）	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	5	1	教師が生徒の健全な育成を目指し、生徒一人一人の自己実現を図っていくための自己指導力を育成する指導内容や具体的な指導法について学ぶとともに、生徒指導、教育相談、キャリア教育についての知識を深め、その指導方法等について学びます。			○	原則不可	
4400060	教育相談	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	5	1	令和4年に改訂された『生徒指導提要』では、教育相談について、「個人の資質や能力の伸長を援助するという発想」に基づき、「児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」と説明されています。自己実現のためには児童生徒の自己理解や他者理解が重要ですが、これを支える土台となるのは、教員自身の自己理解です。本科目では、教員として児童生徒や保護者に対する教育相談を行うにあたって必要となる諸要素について学びます。			○	原則不可	「教育相談（中等）（期間限定）」を履修 ※「教育相談（中等）（期間限定）」を修得した場合は「教育相談（中等）」を修得したことになり、「教育相談」を修得したことにはなりません。
4410390	社会科公民科指導法Ⅰ	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2	8	32	5	5	1	中教審答申・学習指導要領及び『社会科・地歴科・公民科指導法』（星槎大学出版会）をテキストにして（以下、Ⅱ～Ⅳも同じ）、主に中学社会科について学びます。SCでは模擬授業を行い、実践力を高めます。			○	原則不可	
4410400	社会科公民科指導法Ⅱ	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	5	1	主に高校公民を取りあげ、公民科の三科目「公共」「倫理」「政治経済」の内容構成とその相互関連性を学びます。SCでは「導入」を意識した模擬授業を行い、実践力を高めます。	理解を深めていただくため、「社会科公民科指導法Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。		○	原則不可	
4410411	社会科公民科指導法Ⅲ	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	3	8	32	8	1	1	中教審答申や学習指導要領に述べられていることを踏まえ、今日的な社会科指導法を学びます。また、「主体的・対話的で深い学び」を念頭に提出課題を構成し、実践力を高めます。	理解を深めていただくため、「社会科公民科指導法Ⅱ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。		○	原則不可	
4410421	社会科公民科指導法Ⅳ	-	2	0	共生科学専攻科目群	教育分野	4	8	32	0	1	1	中教審答申や学習指導要領に述べられていることを踏まえ、今日的な社会科指導法を学びます。また、「共生」を念頭に提出課題を構成し、実践力を高めます。	理解を深めていただくため、「社会科公民科指導法Ⅲ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。		○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 〇 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4410430	地理歴史科指導法Ⅰ	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2	B	32	5	5	1	高等学校地理歴史科の教員を目指す者が、必須とする学習指導要領をはじめとした法的な根拠を学ぶとともに、学習指導要領に示された地理歴史科の目標や内容を理解することを目的とします。		○	原則不可	
4410440	地理歴史科指導法Ⅱ	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	3	B	32	8	5	1	高等学校地理歴史科の教員を目指す者が、教材研究や学習指導案の作成、評価法など教育現場に必要な基礎的な教授法を身につけるとともに、情報通信技術を活用した最新の授業法を学ぶことを目的とします。	理解を深めていただくため、「地理歴史科指導法Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4400070	授業実践演習	会場	2	0.5	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	32	6	4	1	授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価・改善の方法と技術を学びます。スクーリングでは、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業の中で相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。		○	原則不可	「授業実践演習（中等）（期間限定）」を履修 ※「授業実践演習（中等）（期間限定）」を修得した場合は「授業実践演習（中等）」を修得したことになり、「授業実践演習」を修得したことにはなりません。
4400080	学校ボランティア	オンデマンド+Webライブ+実習	1	1	共生科学専攻科目群	教育分野	2-3	B	32	6	9	1	学校体験活動で、教育実習の前段階として位置づけられています。担当教員の指導を受けながら、学校現場の観察・参加を通して学校の様子を知ることを行っていきます。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学修指導書を確認してください。	原則不可	原則不可	「学校ボランティア（中等）Ⅰ（期間限定）」を履修 ※「学校ボランティア（中等）Ⅰ（期間限定）」を修得した場合は「学校ボランティア（中等）Ⅰ」を修得したことになり、「学校ボランティア」を修得したことにはなりません。
4400090	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援教育	1	B	33	1	5	1	発達障害や不登校、貧困といった現代の幼児・児童・生徒が抱える諸問題及びそれらへの対応、そして社会的自立について具体的に解説します。		○	原則不可	「特別の支援を必要とする生徒の理解（期間限定）」を履修 ※「特別の支援を必要とする生徒の理解（期間限定）」を修得した場合は「特別の支援を必要とする生徒の理解」を修得したことになり、「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」を修得したことにはなりません。
4400100	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	5	1	さまざまな支援ニーズのある幼児・児童・生徒を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。		○	原則不可	「多様な生徒の支援演習（期間限定）」を履修 ※「多様な生徒の支援演習（期間限定）」を修得した場合は「多様な生徒の支援演習」を修得したことになり、「多様な幼児・児童・生徒の支援演習」を修得したことにはなりません。
4420030	応用行動分析学	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	5	0	人が行動するには「理由（わけ）」があります。その理由はあなたが考えている日常的直観とは全く違うものです。本科目ではそういう行動の原理について具体的に学びます。		○	原則不可	
4420040	発達障害教育指導法（Ⅰ）	Webライブ	2	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	5	1	発達障害のある方々の理解と支援について幅広く視野を広げるとともに、教室や家庭で実践できる考え方や方法について学んでいきます。		○	原則不可	
4420050	発達障害教育指導法（Ⅱ）	オンデマンド	2	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	5	1	通常学級に在籍している発達障害のあることについて、特性の理解、学級全体での支援と個別支援の両輪でどう子どもを支えるかを検討していきます。		○	原則不可	
4420060	発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	Webライブ	1	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2	B	33	5	3	1	知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけではなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。		○	原則不可	
4420070	発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	会場	1	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	3	B	33	8	2	1	知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけではなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。	理解を深めていただくため、「発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4420080	聴覚・言語障害児への支援	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	5	0	「ことば」は人と人をつなぐツールといえます。この科目では、ことばの成り立ちや「聴覚・言語障害」をかかえることもたちの実態と支援の方法を学修します。		○	原則不可	「聴覚・言語障害児への支援（期間限定）」を履修
4420091	自閉症児・者の心理と支援	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	1	0	自閉スペクトラム症（ASD）児・者について、彼らの特性を理解し、アプローチの方法とASD児・者の生涯にわたる支援について整理をし、実際に支援ができることを目指します。		○	原則不可	
4420100	発達障害と医療	Webライブ	1	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2-3	B	33	6	3	0	発達障害児・者には、適切な理解と対応が必要です。発達障害児・者の特性や本質を医学的に理解し、社会的不適応をどうしたら減らせるかを考えます。		○	原則不可	
4420110	特別支援教育特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	共生科学専攻科目群	特別支援教育	1-4	B	33	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4420120	視覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援教育	1	B	34	1	5	1	本科目では、視覚障害の心理・生理・病理の基礎的事項を取り扱います。具体的には、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関する病理・生理の内容について学習するとともに、視覚障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420131	視覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援教育	2	B	34	5	1	1	本科目では、視覚障害の心理・生理・病理Ⅰで学ぶ基礎的事項をもとに、視覚障害の状態やその評価、発達及び認知の特性の理解について学習します。また家庭や医療機関との連携の在り方を理解することを目指します。	理解を深めていただくため、「視覚障害の心理・生理・病理Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※19・20は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4420141	視覚障害教育指導法Ⅰ	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	1	1	視覚障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また視覚障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420150	視覚障害教育指導法Ⅱ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援学	3	B	34	8	5	1	視覚障害の状態や特性及び心理発達段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について学習します。さらに視覚補助具やICT及び触覚教材、拡大教材及び音声教材の活用について理解を深めることを目指します。	理解を深めていただくため、「視覚障害教育指導法Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4420161	視覚障害教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	4	B	34	0	1	1	「まなぶ」の語源は「まねぶ」です。ところが視覚障害児は視覚的な模倣が困難です。情報の大半を奪われた視覚障害児への具体的な指導方法を学びます。		○	原則不可	「視覚障害教育総論（期間限定）」を履修 ※特別支援の教員免許取得のために科目を修得する方は新規履修してください。（再履修の場合は特別支援学校教員免許取得の単位としては有効になりません）
4420170	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援学	1	B	34	1	5	1	本科目では、聴覚障害の心理・生理・病理の基礎的事項を取り扱います。具体的には、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、聴覚障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420181	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	1	1	本科目では、聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰで学ぶ基礎的事項をもとに、聴覚障害の状態やその評価、発達及び認知の特性の理解について学習します。また家庭や医療機関との連携の在り方を理解することを目指します。	理解を深めていただくため、「聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4420190	聴覚障害教育指導法Ⅰ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	5	1	聴覚障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また聴覚障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420200	聴覚障害教育指導法Ⅱ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	特別支援学	3	B	34	8	5	1	聴覚障害の状態や特性及び心理発達段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について学習します。さらに、学習環境の整備とICT及び教材・教具を活用について理解を深めることを目指します。	理解を深めていただくため、「聴覚障害教育指導法Ⅰ」を履修した後に履修してください（同年度同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4420211	聴覚障害教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	4	B	34	0	1	1	聴覚障害の生理・病理学的側面の問題が言語やコミュニケーション等の心理的側面にどのように影響を及ぼすかについて学びます。また、乳幼児期から成人期までに獲得すべき能力について、歴史的変遷を踏まえ、教育的視点で考察します。		○	原則不可	「聴覚障害教育総論（期間限定）」を履修 ※特別支援の教員免許取得のために科目を修得する方は新規履修してください。（再履修の場合は特別支援学校教員免許取得の単位としては有効になりません）
4420221	知的障害の心理・生理・病理	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	1	B	34	1	1	1	知的障害(知的発達症)の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、知的障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420231	知的障害教育指導法	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	1	1	知的障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程・カリキュラム・マネジメント）について学習します。また知的障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420241	知的障害教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	3	B	34	8	1	1	知的障がいのある子どもの学校教育の制度、教育課程や指導法、及びインクルーシブ教育の成立や日本の現状、諸外国における制度などについて、総合的に学修します。		○	原則不可	「4420240知的障害教育総論」を履修 ※特別支援の教員免許取得のために科目を修得する方は新規履修してください。（再履修の場合は特別支援学校教員免許取得の単位としては有効になりません）
4420251	肢体不自由の心理・生理・病理	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	1	B	34	1	1	1	肢体不自由の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、肢体不自由のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420261	肢体不自由教育指導法	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	1	1	肢体不自由教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また肢体不自由教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420271	肢体不自由教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	3	B	34	8	1	1	肢体不自由特別支援学校の児童生徒の障害の重度・重複化、病弱化を踏まえて授業を行います。		○	原則不可	
4420281	病弱の心理・生理・病理	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	1	B	34	1	1	1	病弱の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、病弱のある子どもの発達を促すための家庭・医療・福祉との連携の重要性について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420291	病弱教育指導法	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	2	B	34	5	1	1	病弱教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また病弱教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。		○	原則不可	
4420301	病弱教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	3	B	34	8	1	1	病弱・身体虚弱児の状態を理解し、健康状態を回復、改善するための指導を学びます。授業内容の精選や指導法、教材教具などの工夫を学びます。		○	原則不可	
4420311	重複障害教育総論	-	2	0	共生科学専攻科目群	特別支援学	4	B	34	0	1	1	視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理、生理、病理について学ぶとともに、重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について学びます。		○	原則不可	
4430010	いのちと衣食住	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	環境分野	1	B	35	1	5	0	人間の生存には魚介類ほか生き物、農畜産物、衣料・住居素材、化石燃料や鉱物資源など自然界由来の産物は必須です。資源の開発・利用とそれがもたらす生き物のいのちへの脅威とのバランスについて考察していきます。		○	○	2025年4月以降、再履修も不可

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 〇 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の履修は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4430020	自然環境と資源開発	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	5	0	2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標である「SDGs」が、どのように合意に至ったか、なぜ必要なかなどを理解することで、「自然環境と資源開発」について、未来に向けて何をすべきか、共に考えを深めていきます。		○	○	
4430030	環境と社会	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	5	1	生活の水、食べ物、ゴミなど身近な題材から、環境問題が社会経済のあり方や生活スタイルと深く結びついていることを社会的な見方や方法によって理解し、解決に向けた行動や道筋を考える力を修得します。		○	○	
4430040	環境法	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	5	1	良好な環境と資源を守るための法に必要な基本的理論と、公害防止や自然保護に関する主要な法規を知るとともに、その運用の問題点を学びます。		○	○	
4430051	環境と倫理	-	2	0	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	1	1	「人と自然との共生」（環境倫理）は「遊び」「なりわい」「ソーシャル・インクルージョン」とも深くかかわっています。「人と自然との共生」に係る様々なテーマについて具体的・実践的な生き方の問題として考えます。		○	○	
4430060	野外活動演習	2025年度非開講	2	1	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	4	0	身近な大気、水、土壌環境の測定方法、測定結果の読み解き、測定結果のまとめ方等の演習を通して、身近な環境を測定する意義、大気、水、土壌環境の関連性、物質の循環、生物とのかかわり、野外活動について学ぶ。		○	○	「野外活動演習（期間限定）」を履修
4430070	地誌Ⅰ	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	5	1	地域を総合的にとらえ、地域の全体像を理解する地誌学の基本を学びます。地誌学の方法論の基礎を習得し、世界の各地域の地誌の具体的な取り扱い例を理解していきます。		○	原則不可	
4430081	地誌Ⅱ	-	2	0	共生科学専攻科目群	環境分野	2-3	B	35	6	1	1	東アジア、東南アジア、南アジアなどを中心に、世界の地域的特色や歴史的背景に留意して、地誌学的新見方や考え方を学んでいきます。	理解を深めていただくため、「地誌Ⅰ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	「地誌Ⅱ（期間限定）」を履修
4430090	環境特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	共生科学専攻科目群	環境分野	1-4	B	35	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4440011	SDGsを考える	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	1	B	36	1	1	0	地球規模課題に対応する国際枠組であるSDGsの成り立ちや特徴、17の目標に関する世界と日本の現状と、SDGs達成に向けた様々な主体による具体的な取り組みについて学ぶ。		○	○	「SDGsを考える（期間限定）」を履修
4440021	アジアの近代と社会	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	1	人・物・文化の交流から見た東南アジアの歴史と社会について、主に近代以降を中心に学び、これまでの歴史の経緯を踏まえて、これからの日本と東南アジアのあり方を考えていきます。		○	○	2025年4月以降、再履修も不可
4440031	アメリカの歴史と文化	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	0	「アメリカ」は単一のイメージに還元できない、さまざまな顔を持っています。この授業では現代アメリカ社会の複数性・多様性とそれがもたらす軌跡について学びます。		○	○	2025年4月以降、再履修も不可
4440041	アフリカの歴史と文化	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	0	アフリカの豊かな歴史と文化の多様性について読み解きながら、そこに暮らす人々が私たちと地続きの世界を生きていることを学びます。		○	○	2025年4月以降、再履修も不可
4440051	ヨーロッパの歴史と文化	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	0	まずはヨーロッパ全体を概観し、ヨーロッパとは何かを考えます。その後「ヨーロッパであり、ヨーロッパではない」ともいわれるイギリスの社会や文化における現代的課題をその歴史的背景から考察します。		○	○	
4440060	国際関係論	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	5	1	国内社会とは異なる国際社会のさまざまな側面について学ぶことを通して国際的視野を養うとともに、共生的な世界を実現するために私たちに何ができるか考えていきます。		○	○	
4440070	国際法	オンデマンド	2	0.5	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	5	1	国際社会の紛争の予防及び紛争解決のために諸国家が作り上げてきたのが国際法です。事例と併せてその基本的なルールを学びます。		○	○	
4440080	中東と国際社会	Webライブ	2	0.5	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	5	0	世界の火薬庫といわれる中東がなぜ不安定で紛争が多発するのか、現状を多角的なアプローチで分析、平和への展望を考察し、世界との共生の道を探ります。		○	○	
4440091	人間の安全保障	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	0	国内外を問わず、人々の生存、生活、尊厳を脅かす諸問題をより深く考察・分析するために、人間の安全保障という考え方を学びます。		○	○	「人間の安全保障（期間限定）」を履修
4440101	開発協力論	-	2	0	共生科学専攻科目群	国際関係分野	2-3	B	36	6	1	0	感染症や環境、紛争など、国境を超えて人類の未来を脅かす課題に対応するための開発途上国への国際協力について、具体的な事例を通して学びます。		○	○	「開発協力論（期間限定）」を履修
4440110	国際関係特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	共生科学専攻科目群	国際関係分野	1-4	B	36	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401010	共生科学実践特別演習（1）	科目による（学修指導書で提示）	1	1	共生科学専攻科目群		1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401020	共生科学実践特別演習（2）	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	共生科学専攻科目群		1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 〇 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の履修は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い				
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤	
4401030	共生科学実践特別演習（3）	科目による（学修指導書で提示）	2	1	共生科学専攻科目群				1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401040	共生科学実践特別演習（4）	科目による（学修指導書で提示）	2	2	共生科学専攻科目群				1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401050	共生科学実践特別演習（5）	科目による（学修指導書で提示）	4	4	共生科学専攻科目群				1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401060	共生科学実践特別演習（6）	科目による（学修指導書で提示）	8	8	共生科学専攻科目群				1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4510011	保育内容（健康）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達の意味を把握していきます。また、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について学んでいます。		○	原則不可	
4510021	保育内容（人間関係）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	乳幼児期のこどもの「人間関係」の発達と指導について理解するとともに、具体的な場面を想定し、「人と関わる力」を育むための指導を構想していきます。		○	原則不可	
4510031	保育内容（環境）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	乳幼児期のこどもにとっての環境として、自然環境、園内の環境、保育者や友だちといった人の存在を取り上げ、安全への配慮を含めてそれらの環境の特徴を学びます。		○	原則不可	
4510041	保育内容（言葉）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	幼児は、園生活の中で多様な体験や人とのかかわりを通して、生活に必要な言葉を獲得していきます。また、絵本や物語などの児童文化財に親しむ中でも、感性や言語感覚、想像力を豊かにします。幼児の成長にそった言葉の発達を理解し、保育者の役割・援助・環境の整え方について学んでいきます。		○	原則不可	
4510051	保育内容（音楽表現）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	歌唱・器楽及び身近な自然音・環境音などに親しむ体験を通し、豊かな情操や感性育成について理解するとともに、音楽的な見方・考え方を活かし、幼児が主体的・対話的で深い学びができる指導方法を身に付けます。		○	原則不可	
4510061	保育内容（造形表現）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	表現活動の発達段階について理解し、さらに保育者の援助の基本や具体的な方法についても学んでいきます。		○	原則不可	
4510070	保育内容の指導法（健康）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	乳幼児の健康に関する課題に対応していく力の修得を目指す科目です。乳幼児期の発達・発育、運動遊びの意義について具体的事例に触れながら学んでいきます。		○	原則不可	
4510080	保育内容の指導法（人間関係）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	幼児が安心して園生活を送るには、信頼関係の構築と楽しく過ごせる居場所が必要です。自己主張と自己抑制の関わり方を中心に、思いやりを育む話し合いについて学修します。		○	原則不可	
4510090	保育内容の指導法（環境）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	周囲のさまざまな環境（自然や人の生活）に好奇心や探究心をもって関わり、発見したりそれを楽しんだりすることができるようにする指導法を学びます。		○	原則不可	
4510100	保育内容の指導法（言葉）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	幼児が自分の気持ちを言葉で表現したり、美しい言葉や文字を使ったりして、相手と伝え合うことを楽しみ、活動の喜びを全員で味わえる言葉・文字遊びについて学修します。		○	原則不可	
4510110	保育内容の指導法（音楽表現）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	幼稚園の「音楽表現」のねらいや内容全般及び幼児の音楽的な発達について理解します。また、保育（音楽表現）指導案を作成し、演習を通して「音楽表現」の指導法を身に付けていきます。		○	原則不可	
4510120	保育内容の指導法（造形表現）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群				2-3	B	37	6	5	1	幼児教育における遊びの重要性と主体的な学びを引き出す援助のあり方について保育指導案作成とともに実践を通して学びます。		○	原則不可	
4510131	教科（国語）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	人は言葉によって、思考力や想像力を上げていくことができます。国語科教育とは、それらの基礎を培うことにほかなりません。国語科教育の本質に迫ります。		○	原則不可	「教科（国語）（期間限定）」を履修
4510141	教科（社会）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	社会って何のために学ぶの？いつ頃誕生したの？その歴史は？学習指導要領の読み解き方は？教材化の方法は？共に学び修得していきましょう！		○	原則不可	「教科（社会）（期間限定）」を履修
4510151	教科（算数）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	算数という教科は、量の解釈として科学、論理的数学、およびデータサイエンスの基礎を扱います。小学校での学習を、改めて見つめなおしてみましょう。		○	原則不可	「教科（算数）（期間限定）」を履修
4510161	教科（理科）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	小学校学習指導要領（理科）の改善の視点やその特徴について、変遷等を踏まえて学修し、調査結果等から、さまざまな課題を克服する授業のあり方を考えます。		○	原則不可	「教科（理科）（期間限定）」を履修
4510171	教科（生活）	-	2	0	初等教育専攻科目群				1-2	B	37	2	1	1	生活科の特質や目標を理解するとともに、学校や家庭、地域などの社会事象や自然や行事、遊びや飼育栽培など、その内容の本質を学びます。		○	原則不可	「教科（生活）（期間限定）」を履修

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明明是学生ハンドブックで確認してください。

SC=スクーリング、Webライブ=Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場=会場で受講するスクーリング、オンデマンド=動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス=自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習=各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次=正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング=科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書=詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4510181	教科（音楽）	-	2	0	初等教育専攻科目群		1-2	B	37	2	1	1	音楽を指導する上で必要な音楽の役割、音楽理論等の音楽の基礎を身に付けるとともに、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の指導の基になる理論を修得し、実践的指導に活かしていく方法を学びます。		○	原則不可	「教科（音楽）（期間限定）」を履修
4510191	教科（図画工作）	-	2	0	初等教育専攻科目群		1-2	B	37	2	1	1	小学校学習指導要領(図画工作)の目標や内容の取り扱い、図画工作科の評価法や子どもの発達特性と造形的な創造活動との関連、教材性の発見や題材の設定の仕方、他教科との関連や横断的な取り扱い方の配慮事項等について学びます。		○	原則不可	「教科（図画工作）（期間限定）」を履修
4510201	教科（家庭）	-	2	0	初等教育専攻科目群		1-2	B	37	2	1	1	「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の内容を「生活の営みに係る見方・考え方」の視点で捉え、体験を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けます。		○	原則不可	「教科（家庭）（期間限定）」を履修
4510211	教科（体育）	-	2	0	初等教育専攻科目群		1-2	B	37	2	1	1	小学校体育科の意義や価値を理解し、学習指導要領解説を基にした学習内容論や学習指導論の基礎を学びます。		○	原則不可	「教科（体育）（期間限定）」を履修
4510221	教科（外国語）	-	2	0	初等教育専攻科目群		1-2	B	37	2	1	1	小学校における外国語活動・外国語の授業に必要な実践的な英語力や背景にある文化を理解し、中学校外国語との接続も踏まえて学びます。		○	原則不可	「教科（外国語）（期間限定）」を履修
4510230	初等教科教育法(国語)	オンデマンド+Webライブ(or会場)	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	9	1	国語科はあらゆる学習の基盤をなしています。教室の子どもたちが、楽しく学び、そして言葉の力を確実に身につける国語科学習指導法について具体的に学び、授業力を身につけていきます。		○	原則不可	「初等教科教育法(国語）（期間限定）」を履修
4510240	初等教科教育法(社会)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	こどもにとって「楽しい、わかりやすい社会科授業」とは？ そのための指導案の作成の仕方は？ 求められる指導技術は？ 共に学び修得していきましょう！		○	原則不可	「初等教科教育法(社会）（期間限定）」を履修
4510250	初等教科教育法(算数)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	こどもたちが自ら目的意識をもち、学ぶことの楽しさや有用性を実感できる算数教育を実践事例を通して学修します。		○	原則不可	「初等教科教育法(算数）（期間限定）」を履修
4510260	初等教科教育法(理科)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	小学校理科の目標「自然に親しみ」「理科の見方・考え方を働かせ」等、学習指導要領が目指すものを分析的に学び、実際の指導案の書き方や指導方法の工夫のポイントについて学びます。		○	原則不可	「初等教科教育法(理科）（期間限定）」を履修
4510270	初等教科教育法(生活)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	児童に自然現象や社会事象に関心を持たせ、直接体験により疑問や発見、感動を呼び起こし、自立への基礎力を養う指導法について学びます。		○	原則不可	「初等教科教育法(生活）（期間限定）」を履修
4510280	初等教科教育法(音楽)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	音楽科の領域、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の目標・指導内容を理解し、それらの指導法や評価方法を身に付け、学習指導案を作成できるようにするとともに、実際に指導できるようにします。		○	原則不可	「初等教科教育法(音楽）（期間限定）」を履修
4510290	初等教科教育法(図画工作)	オンデマンド+Webライブ(or会場)	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	9	1	図画工作全般にわたって理解するとともに、学習指導案作成から模擬授業までの実践力の育成を目指します。また、授業改善のポイントについても考えていきます。（確認中）		○	原則不可	「初等教科教育法(図画工作）（期間限定）」を履修
4510300	初等教科教育法(家庭)	ハイフレックス	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	6	1	小学校学習指導要領（家庭）に示された目標、内容を理解すると共に、ICTの効果的な活用等を用いた指導法、評価について学び、実践的指導力を身に付けます。		○	原則不可	「初等教科教育法(家庭）（期間限定）」を履修
4510310	初等教科教育法(体育)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	小学校における体育授業を実践する基礎的知識の修得を目指す科目です。実際に小学校で取り扱っている教材を体験し、実践的に学んでいきます。		○	原則不可	「初等教科教育法(体育）（期間限定）」を履修
4510320	初等教科教育法(外国語)	オンデマンド+Webライブ	2	1	初等教育専攻科目群		2-3	B	37	6	5	1	小学校における外国語活動及び外国語の学習・指導・評価等に関する基本的な知識・実践的な指導技術を中学校外国語との接続も踏まえて学びます。		○	原則不可	「初等教科教育法(外国語）（期間限定）」を履修
4400011	教育原理	-	2	0	初等教育専攻科目群		1	B	37	1	1	1	教えること、学ぶことは不思議に満ちています。さまざまな不思議にじっくりと向き合いながら、一つひとつ自分なりの答えを探求授業です。		○	原則不可	「教育原理（初等）（期間限定）」を履修 ※「教育原理（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教育原理（初等）」を修得したことになり、「教育原理」を修得したことにはなりません。
4400020	教職概論	オンデマンド+Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群		1	B	37	1	5	1	教職とは何か。その根本に立ち返り、さまざまな視点で論じ考察します。「先生になりたい」という思いに肉付けをし、教育課題も取りあげます。授業では、対話や探究を通して、主体的な思考や深い学びを目指します。		○	原則不可	「教職概論（初等）（期間限定）」を履修 ※「教職概論（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教職概論（初等）」を修得したことになり、「教職概論」を修得したことにはなりません。
4400030	教育経営・学校安全論	オンデマンド	2	0.5	初等教育専攻科目群		2	B	37	5	5	1	初等・中等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。		○	原則不可	「教育経営・学校安全論（初等）（期間限定）」を履修 ※「教育経営・学校安全論（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教育経営・学校安全論（初等）」を修得したことになり、「教育経営・学校安全論」を修得したことにはなりません。

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い				
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤	
4400041	教育心理学	-	2	0	初等教育専攻科目群			2	8	37	5	1	1	教育心理学が「根拠に基づいて」子どもの発達を理解した上で教育を行うことを目指し、また、教育の場でのさまざまな問題を解決するための知識・技能・態度を修得することを目指していることについて学びます。			○	原則不可	「教育心理学（初等）（期間限定）」を履修 ※「教育心理学（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教育心理学（初等）」を修得したことになり、「教育心理学」を修得したことにはなりません。
4400090	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群			1	8	37	1	5	1	発達障害や不登校、貧困といった現代の生徒が抱える諸問題及びそれらへの対応、そして社会的自立について具体的に解説します。			○	原則不可	「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解（期間限定）」を履修 ※「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解（期間限定）」を修得した場合は「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解」を修得したことになり、「特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解」を修得したことにはなりません。
4400050	教育課程論	オンデマンド	2	0.5	初等教育専攻科目群			1	8	37	1	5	1	学校教育における教育課程の役割・機能・意義と教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、最新の教育課程の方向性とカリキュラム・マネジメントについて学びます。			○	原則不可	「教育課程論（初等）（期間限定）」を履修 ※「教育課程論（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教育課程論（初等）」を修得したことになり、「教育課程論」を修得したことにはなりません。
4510390	道徳の理論・指導法（初等）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群			2	8	37	5	5	1	主体的な判断の下に行動し、他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性の育成を目指す基礎を学び、指導計画や授業プランの作成、スクーリングにおける授業展開の構想など、実践的な指導力を身に付けます。			○	原則不可	
4510400	総合的な学習の時間の指導法（初等）	オンデマンド	1	0.5	初等教育専攻科目群			3	8	37	8	5	1	総合的な学習の時間では、課題を見だし、情報を集め、整理・分析していく探究的な学修を進めます。このねらいを理解し、実践的な指導法の修得を目指します。			○	原則不可	
4510410	特別活動の指導法（初等）	Webライブor会場	1	0.5	初等教育専攻科目群			3	8	37	8	9	1	特別活動は、集団活動を通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の力を育みます。特別活動の考え方やすすめ方について学び、そこで求められる教員の実践的指導力を培うための基礎を学修していきます。			○	原則不可	
4510420	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	オンデマンド+Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群			1	8	37	1	5	1	教育方法、授業づくり・保育環境づくりに関する基礎的事項、授業・保育における情報通信技術の活用について理解し、授業・保育の構想・設計ができることをねらいとしています。			○	原則不可	
4510430	幼児理解の理論と方法	オンデマンド	2	0.5	初等教育専攻科目群			3	8	37	8	5	1	こどもたちの育ちに関わる保育者は、こどもの何をみて、どのように育ちと関わるのか？ この授業を通して、一人ひとりのこどもを見つめる視点を学びます。			○	原則不可	
4510440	生徒・進路指導論（初等）	Webライブ	2	0.5	初等教育専攻科目群			3	8	37	8	5	1	一人ひとりの児童の個性を伸ばし、自己実現をめざす自己指導能力を育てる生徒指導及び社会的・職業的自立に向けた進路指導・キャリア教育の意義や原理について学び、スクーリングでは事例研究を通して実践的な指導力の基礎を身に付けます。			○	原則不可	
4400060	教育相談	オンデマンド	2	0.5	初等教育専攻科目群			3	8	37	8	5	1	令和4年に改訂された『生徒指導提要』では、教育相談について、「個人の資質や能力の伸長を援助するという発想」に基づき、「児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」と説明されています。自己実現のためには児童生徒の自己理解や他者理解が重要ですが、これを支える土台となるのは、教員自身の自己理解です。本科目では、教員として児童生徒や保護者に対する教育相談を行うにあたって必要となる諸要素について学びます。			○	原則不可	「教育相談（初等）（期間限定）」を履修 ※「教育相談（初等）（期間限定）」を修得した場合は「教育相談（初等）」を修得したことになり、「教育相談」を修得したことにはなりません。
4510460	教育実習（初等）（1）	実習+Webライブ	5	5	初等教育専攻科目群			4	8	37	0	9	1	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。		○	原則不可	
4510470	教育実習（初等）（2）	実習+Webライブ	3	3	初等教育専攻科目群			4	8	37	0	9	1	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。		○	原則不可	
4510480	教職実践演習（初等）	1・2日目：Webライブ 3・4日目：会場	2	2	初等教育専攻科目群			4	8	37	0	9	1	待望の教員になるためのステップを登りつめてきたみなさんが、さらにステップアップして立派な教員になるための資質や能力を磨いていくための学びです。			○	原則不可	
4400070	授業実践演習	会場	2	0.5	初等教育専攻科目群			2-3	8	37	6	4	1	授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を学び、スクーリングにおいては、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業の中で相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。			○	原則不可	「授業実践演習（初等）（期間限定）」を履修 ※「授業実践演習（初等）（期間限定）」を修得した場合は「授業実践演習（初等）」を修得したことになり、「授業実践演習」を修得したことにはなりません。
4400100	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	オンデマンド	2	0.5	初等教育専攻科目群			2-3	8	37	6	5	1	さまざまな支援ニーズのある幼児・児童・生徒を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。			○	原則不可	「多様な幼児・児童の支援演習（期間限定）」を履修 ※「多様な幼児・児童の支援演習（期間限定）」を修得した場合は「多様な幼児・児童の支援演習」を修得したことになり、「多様な幼児・児童・生徒の支援演習」を修得したことにはなりません。

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

2025/3/25掲載

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※19・20は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の履修は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い						
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤			
4400080	学校ボランティア	オンデマンド+Webライブ	1	1	初等教育専攻科目群					2-3	B	37	6	9	1	学校体験活動で、教育実習の前段階として位置づけられています。担当教員の指導を受けながら、学校現場の観察・参加を通して学校の様子を知ることねらいとしています。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学修指導書を確認してください。		原則不可	原則不可	「学校ボランティア（初等）I（期間限定）」を履修 ※「学校ボランティア（初等）I（期間限定）」を修得した場合は「学校ボランティア（初等）I」を修得したことになり、「学校ボランティア」を修得したことにはなりません。
4510520	初等教育特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	初等教育専攻科目群					1-4	B	37	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401010	共生科学実践特別演習（1）	科目による（学修指導書で提示）	1	1	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401020	共生科学実践特別演習（2）	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401030	共生科学実践特別演習（3）	科目による（学修指導書で提示）	2	1	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401040	共生科学実践特別演習（4）	科目による（学修指導書で提示）	2	2	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401050	共生科学実践特別演習（5）	科目による（学修指導書で提示）	4	4	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401060	共生科学実践特別演習（6）	科目による（学修指導書で提示）	8	8	初等教育専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4610011	介護と看護の基礎知識	-	2	0	福祉専攻科目群					1	B	38	1	1	0	福祉にかかわるうえで必要となる基本的な医療知識を理解し、介護・看護の対象となる高齢者のエビデンスに基づいたケアの考え方を学修します。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4610020	現代社会とメンタルヘルス	Webライブ	2	0.5	福祉専攻科目群					1	B	38	1	5	0	現代社会の現状・課題・問題点を考えながら、私たちが現代社会の中で生きていくために求められるメンタルヘルスとは何であるかを考えていきます。			○	原則不可	
4610030	相談援助入門	Webライブ	2	0.5	福祉専攻科目群					2	B	38	5	5	0	ソーシャルワークに必要な技術は多々ありますが、この講義は対人関係支援に不可欠なコミュニケーション技法を中心に「相談援助って何？」という基礎から学んでいきます。			○	原則不可	
4610041	医学概論	-	2	0	福祉専攻科目群					2	B	38	5	1	0	「人体の構造と機能及び疾病」についての学修は、人という存在を身体・心理・社会の丸ごとで理解するために不可欠です。人の生涯を通じての健康を考えるためにも職場でも最も基礎的な知識として必要となります。			○	原則不可	
4610051	心理学と心理的支援	-	2	0	福祉専攻科目群					1	B	38	1	1	0	社会福祉士など対人援助者として必要な心理学的な支援に関して、知識と技術等、広範囲に学修しながら、対人援助者としての態度も学んでいきます。			○	原則不可	
4610060	社会学と社会システム	オンデマンド	2	0.5	福祉専攻科目群					1	B	38	1	5	0	観念の世界でなく、現実生起している社会事象を独自の道具を使って読み解いていきます。現代社会の問題について一緒に考えていきましょう。			○	原則不可	「4614141社会学と社会システム」を履修
4610071	社会福祉の原理と政策	-	4	0	福祉専攻科目群					2	B	38	5	1	0	2000年以降の「社会福祉基礎構造改革」により、我が国の社会福祉は理念や仕組みなどが大きく変化しました。業務を行う際の基本となる考え方や原理、福祉政策の変遷を理解していきます。			○	原則不可	
4610080	社会福祉調査の基礎	Webライブ	2	0.5	福祉専攻科目群					3	B	38	8	5	0	人々のニーズや地域の福祉課題を把握・分析して制度やサービスの改善や評価、新たなリソースの創出につなげていく際には、その根拠となる資料（データ）を示すことが不可欠です。その方法としての「社会調査」について学びます。			○	原則不可	「社会福祉調査の基礎（期間限定）」を履修
4610091	ソーシャルワークの基盤と専門職	-	2	0	福祉専攻科目群					2	B	38	5	1	0	ソーシャルワークの価値、知識、スキル、実践の体系を理解し、ソーシャルワークとは何かを学びます。社会福祉士は日本においてソーシャルワークを担う専門職ですので、その根幹となる科目です。			○	原則不可	
4610101	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	-	2	0	福祉専攻科目群					3	B	38	8	1	0	ソーシャルワークにおけるマイクロ（個人と家族の支援）、メソ（集団や組織への支援）、マクロ（地域や政策への対応）の各レベル、総合的かつ包括的な支援と多職種連携について学びます。			○	原則不可	
4610110	ソーシャルワークの理論と方法	Webライブ	4	1	福祉専攻科目群					2	B	38	5	5	0	ソーシャルワークの基盤と専門職で修得した内容を踏まえ、様々な領域においてソーシャルワーカーが行う実践が、どのように展開されていくのか、どのような理論や方法論のもとで、どのようなスキルが活用されるのかを学びます。			○	原則不可	「ソーシャルワークの理論と方法（期間限定）」を履修

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

2025/3/25掲載

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で受講するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い				
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤	
4610120	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	Webライブ	4	1	福祉専攻科目群				3	8	38	8	5	0	多様化、複雑化する課題に対応できるソーシャルワーカーを目指すための科目です。ソーシャルワーカーは、人々との協働的実践の展開をどのように行うか、人の尊厳の保持をどのように実現するのかを学びます。また、良質な実践を展開するために重要となるスーパービジョンや多職種協働体制の構築についても学びます。		○	原則不可	「ソーシャルワークの理論と方法（専門）（期間限定）」を履修
4610130	地域福祉と包括的支援体制	Webライブ	4	1	福祉専攻科目群				3	8	38	8	5	0	現代社会において、「地域＝コミュニティ」ひいては「地域福祉」という考え方が重要視されるようになった背景を理解し、構成内容や概念の変化の理由を時系列で学びます。また、具体的な推進機関や人的資源、法制度について学び、地域における福祉の展開について実践的に理解します。		○	原則不可	「地域福祉と包括的支援体制（期間限定）」を履修
4610141	福祉サービスの組織と経営	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	福祉サービスを提供している組織の種類や特徴を学修し、サービス提供機関が備えるべき経営の視点（人事管理、労務管理、経営管理等）について、具体的な内容や方法を学びます。		○	原則不可	
4610151	社会保障論	-	4	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	医療や年金などの社会保障制度は、私たちの生活に欠かせないものになっています。生活場面に応じて、どう利用し生活を守っていくかを考えていきます。		○	原則不可	
4610161	高齢者福祉論	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	高齢者を取り巻く環境や高齢者福祉制度の変遷、介護保険制度をはじめとした諸制度、高齢者支援に関わる専門職とその役割等について学びます。		○	原則不可	
4610171	障害者福祉論	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	障がいの特性と障がい者（児）とその家族、地域を基軸とした社会生活・環境を理解します。障がい福祉の歴史と現行の法・制度等について修得し、社会福祉士に期待される支援・援助を考えていきます。		○	原則不可	
4610181	児童・家庭福祉	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	児童が権利の主体であること踏まえ、児童とその家庭及び妊産婦の生活課題を整理し、その背景を理解したうえで適切な支援の仕組みやあり方を理解していきます。		○	原則不可	
4610191	貧困に対する支援	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	貧困問題は深刻さを増しています。貧困者への支援のあり方を学ぶことは、社会福祉士に必要な人権感覚を磨くためにも重要な学びとなると確信しています。		○	原則不可	
4610201	保健医療と福祉	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	現在、医療分野における福祉の存在意義は大きくなっています。医療と福祉の連携を中心に保健医療サービスの概要について学びます。		○	原則不可	
4610211	権利擁護を支える法制度	-	2	0	福祉専攻科目群				3	8	38	8	1	0	契約社会の中で、生きづらさを感じている社会的弱者（認知高齢者、知的・精神障がい者等）の実態を知り、法的な制度を学びつつ、その解決方法を探ります。		○	原則不可	
4610221	刑事司法と福祉	-	2	0	福祉専攻科目群				4	8	38	0	1	0	刑務所等にいる社会的弱者が、社会復帰後、再犯を犯す事がないように、福祉に繋げていく仕組み（更生保護）と重篤な触法精神障害者の処遇について地域定借を目指す医療、精神保健観察の仕組み（医療観察）を理解します。		○	原則不可	
4610230	ソーシャルワーク演習	会場	2	1	福祉専攻科目群				3	8	38	8	4	0	実際の現場実習における個別支援や集団場面を想定し、基本的なコミュニケーション技術や面接技法等をロールプレイも行いながら学んでいきます。	福祉専攻の学生のみ履修可能です。通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。	○	原則不可	
4610240	ソーシャルワーク演習（専門）	会場	8	2	福祉専攻科目群				4	8	38	0	4	0	実際の現場実習における個別支援や集団場面の中において、具体的な場面（事例）を活用しながらソーシャルワーク支援の展開を学んでいきます。	福祉専攻の学生のみ履修可能です。通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。	○	原則不可	
4610250	ソーシャルワーク実習指導	会場	6	2	福祉専攻科目群				4	8	38	0	9	0	実習先では勿論、ソーシャルワーカーとしても必要なソーシャルワークの価値規範や倫理、個人のプライバシーの保護等を学んでいきます。	福祉専攻の学生のみ履修可能です。通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。	○	原則不可	
4610260	ソーシャルワーク実習Ⅰ	実習	4	4	福祉専攻科目群				4	8	38	0	2	0	机上で学んだソーシャルワークの知識や技術を実践し、その中で得た内容を概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。	福祉専攻の学生のみ履修可能です。通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。	○	原則不可	
4610270	ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習	1	1	福祉専攻科目群				4	8	38	0	2	0	ソーシャルワーク実習Ⅰとは異なる施設・事業所での実習を通し、実践した内容を概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。	福祉専攻の学生のみ履修可能です。通常の履修登録とは異なる手続きが必要です。	○	原則不可	
4610280	福祉特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	福祉専攻科目群				1-4	8	38	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401010	共生科学実践特別演習（1）	科目による（学修指導書で提示）	1	1	福祉専攻科目群				1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401020	共生科学実践特別演習（2）	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	福祉専攻科目群				1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	
4401030	共生科学実践特別演習（3）	科目による（学修指導書で提示）	2	1	福祉専攻科目群				1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。	原則不可	応相談	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

2025/3/25掲載

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明了は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の履修は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い				
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤	
4401040	共生科学実践特別演習（4）	科目による（学修指導書で提示）	2	2	福祉専攻科目群			1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401050	共生科学実践特別演習（5）	科目による（学修指導書で提示）	4	4	福祉専攻科目群			1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401060	共生科学実践特別演習（6）	科目による（学修指導書で提示）	8	8	福祉専攻科目群			1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4710010	体づくり運動	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	2	1	体づくり運動は「競争」や「勝敗」に価値を置くのではなく「自己評価」や「達成」を重視し、「気づき」「関わりあうこと」を体感していく学修です。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710020	器械運動	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	2	1	スクーリングでは、主に「マット」、「とび箱」、「鉄棒」の種目にあるそれぞれの運動課題の実践とともにその指導法、幫（補）助法を学びます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710030	陸上	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	2	1	スポーツの基本とされる「走る・跳ぶ・投げる」ことを通して、楽しさや奥深さを体験し、学びにつなげるための方法や技術、指導法を身につけていきます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710040	水泳	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	2	1	水の中で「浮く・潜る・進む」などの動きの基礎と呼吸法を含めた正しい4泳法を身につけ、指導法を身につけていきます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710050	サッカー	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	2	1	学生主体の学びとして頭と身体を駆使しながら他者とのコミュニケーションを図り、サッカーの本質や指導法を学びます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710060	バスケットボール	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	2	1	基本技術には、「パス」「ドリブル」「シュート」があり、段階的な練習法を学び技術を得るとともに指導法を学びます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710070	バレーボール	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	2	1	ネットの高さやコートの広さ、ボールの大きさや柔らかさを工夫しながら、バレーボールの楽しさを体験し、技術の向上や指導法を学んでいきます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710080	野球	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	2	1	野球は、「捕る」、「投げる」、「打つ」、「走る」といったさまざまな動きを伴います。上手くなる工夫や指導法、できるようになる楽しさを学んでいきます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710090	柔道	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			3	8	39	8	2	1	前まわり受身と、基本的な投技である足技・手技・腰技、各3種類（合計9～12種類）及び、固技5種類をマスターすることを目標とし、指導法も学びます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710100	ダンス	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			3	8	39	8	2	1	ダンス領域の内容（創作ダンス、現代的なリズムのダンス、フォークダンス）について講義と実技を通して学修し、ダンス作品の創作や指導法に取り組みます。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710110	バドミントン	クラスルーム＋会場	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	2	1	バドミントンは「ネット型」の球技として親しみやすい種目です。本科目では技術やルールだけでなく歴史なども正しく学び、指導の基礎を学修します。	体育実技科目（施設管理費の支払いが必要です）	○	原則不可	原則不可	
4710120	陸上演習	2025年度非開講	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群			4	8	39	0	4	1	陸上競技の指導案や指導プログラムの作成、模擬授業や模擬指導を通して、「走る・跳ぶ・投げる」ことを指導する楽しさや方法を学んでいきます。	原則、隔年開講となるため、再履修はできません。	○	原則不可	原則不可	
4710130	球技演習	会場	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群			4	8	39	0	4	1	バスケットボールの指導案作成と模擬授業を実践し、バスケットボールの楽しさや指導法を学んでいきます。	原則、隔年開講となるため、再履修はできません。	○	原則不可	原則不可	
4710140	スポーツ原理	オンデマンド	2	0.5	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	5	1	体育・スポーツを成立させるもの、つまり「原理」とは何か。人間への理解（教育、運動、遊び）を通して体育・スポーツの原理を考えていきます。			○	原則不可	
4710150	スポーツ心理学	オンデマンド	2	0.5	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	5	1	スポーツの心理的要因や心理的効果を理解し、競技スポーツの競技力向上や指導法、健康スポーツの実践方法を学んでいきます。			○	原則不可	
4710161	スポーツ経営管理論	-	2	0	スポーツ身体表現専攻科目群			2	8	39	5	1	1	学校体育をはじめ各種スポーツ組織の力を高め、体育・スポーツの環境整備に必要な課題を創造できる能力を身につけていきます。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4710171	スポーツ社会学	-	2	0	スポーツ身体表現専攻科目群			1	8	39	1	1	1	スポーツは近現代において社会や文化との関係性により著しく発展し、またさまざまな問題を引き起こしてきました。その諸相について学んでいきます。			○	原則不可	「スポーツ社会学（期間限定）」を履修

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出可否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い						
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤			
4710380	保健体育科指導法Ⅱ	クラスルーム＋会場	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群					3	B	39	8	4	1	「保健体育」という「体育」のイメージが大きいですが、「保健」の授業もとても大切です。保健の授業づくりと学習指導案について学びます。	理解を深めていただくため、「保健体育科指導法Ⅰ」を履修登録していない方は履修登録できません。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順番での履修が望ましいですが、最低限、「Ⅰ→Ⅲ（体育の内容）」「Ⅱ→Ⅳ（保健の内容）」の順番にスクーリングを受講できるように計画してください。		○	原則不可	
4710390	保健体育科指導法Ⅲ	クラスルーム＋会場	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群					4	B	39	0	4	1	保健体育科指導法Ⅰで学んだ指導案をもとに、模擬授業を実践することによって、指導の工夫や教材開発の必要性について学んでいきます。	理解を深めていただくため、「保健体育科指導法Ⅱ」を履修登録していない方は履修登録できません。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順番での履修が望ましいですが、最低限、「Ⅰ→Ⅲ（体育の内容）」「Ⅱ→Ⅳ（保健の内容）」の順番にスクーリングを受講できるように計画してください。（Ⅰのスクーリングの前にⅢのスクーリングを受講できません）	○	○	原則不可	
4710400	保健体育科指導法Ⅳ	クラスルーム＋会場	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群					4	B	39	0	4	1	中学校、高等学校、保健体育の保健または体育理論に焦点をあて、授業づくりや単元構成を行います。また、授業実施に向け教材研究や模擬授業を行います。	理解を深めていただくため、「保健体育科指導法Ⅲ」を履修登録していない方は履修登録できません。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順番での履修が望ましいですが、最低限、「Ⅰ→Ⅲ（体育の内容）」「Ⅱ→Ⅳ（保健の内容）」の順番にスクーリングを受講できるように計画してください。（Ⅱのスクーリングの前にⅣのスクーリングを受講できません）		○	原則不可	
4710410	スポーツ身体表現特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	39	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401010	共生科学実践特別演習（1）	科目による（学修指導書で提示）	1	1	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401020	共生科学実践特別演習（2）	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401030	共生科学実践特別演習（3）	科目による（学修指導書で提示）	2	1	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401040	共生科学実践特別演習（4）	科目による（学修指導書で提示）	2	2	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401050	共生科学実践特別演習（5）	科目による（学修指導書で提示）	4	4	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401060	共生科学実践特別演習（6）	科目による（学修指導書で提示）	8	8	スポーツ身体表現専攻科目群					1-4	B	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修者が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4810010	英語学概論Ⅰ	オンデマンド	2	0.5	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2	B	40	5	5	1	国際共通語としての英語、英語の社会的属性、発話行為・ポライトネス、語彙、文法、音韻からみる英語らしさについて学ぶとともに、理解を深めるために具体的なケーススタディにも触れていきます。			○	原則不可	
4810021	英語学概論Ⅱ	-	2	0	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2-3	B	40	6	1	1	英語という言語がいつ、どこで、どのように歴史上出現し、どのような過程を経て今日の国際語としての地位を築いたか。またその言語的特徴や発話のメカニズム、音の構造について学びます。	理解を深めていただくため、「英語学概論Ⅰ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、順番通りに受講できるように計画してください）。		○	原則不可	「英語学概論Ⅱ（期間限定）」を履修
4810030	英語文学論（1）	オンデマンド	2	0.5	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2	B	40	5	5	1	イギリスの児童向け小説一冊を原文で読みます。ユーモアあふれるストーリーを楽しみながら、いきいきとした会話表現を学びます。また、文学作品の「読み」について考察し、作品論を書けるようになります。			○	原則不可	
4810041	英語文学論（2）	-	2	0	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2-3	B	40	6	1	1	著名なイギリス人作家の小説を読み、小説の味わいや作品論の書き方、「小説とは何か」ということを学びます。十九世紀初頭のラブコメディをとおり、イギリスの人びとの生活や風俗習慣も垣間見ることが出来ます。			○	原則不可	
4810050	英語文学講読（1）	オンデマンド	2	0.5	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2	B	40	5	5	1	複数のアメリカ人作家の短編小説をとおり、英語表現を学びます。同時に、文学作品のさまざまな楽しみ方を考えます。文化的背景なども考慮に入れながら作品の奥深さを考察できるようにすることが目標です。			○	原則不可	
4810061	英語文学講読（2）	-	2	0	グローバルコミュニケーション専攻科目群					2-3	B	40	6	1	1	「短編の名手」と謳われた二十世紀イギリス人作家のショートストーリーを複数読みます。コミカルで少しブラックな味わいのある物語は平易な英語で書かれており、楽しみながら英語の読解力向上につながります。			○	原則不可	
4810070	実践英語コミュニケーションⅠ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション専攻科目群					1-2	B	40	2	5	1	ネイティブスピーカーによる授業を通して「聞く、読む、話す[やり取り・発表]、書く」のそれぞれについて実践的な英語運用能力を学びます。また、教材による学修で、4技能を向上させることができます。			○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC=スクーリング、Webライブ=Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場=会場で受講するスクーリング、オンデマンド=動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス=自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習=各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次=正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング=科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書=詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い					
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤		
4810080	実践英語コミュニケーションⅡ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	40	6	5	1	「聞く、読む、話す[やり取り・発表]、書く」能力のレベルアップを図るとともに、計画書を作り、英語で考えをまとめて発表資料を作成し、それをもとに発表したり、他者とやり取りしたりする能力を磨きます。	理解を深めていただくため、「実践英語コミュニケーションⅡ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、最低限スクーリングが順番通りに受講できるように計画してください）。	○	原則不可	
4810091	英語基礎（Reading & Writing）	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1	8	40	1	1	1	初歩からじっくり英語を学び直したい場合は、この科目からはじめましょう。e-learningでReadingや文法を学びますので、自分のペースで繰り返し学修できます。内容も学校英語とは異なり、大人向けに作成されています。		○	原則不可	
4810100	英語総合（Reading & Writing）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	40	6	5	1	e-learning教材を通して、英語科教員に必要な「読む」及び「書く」の能力を身につけます。また、スクーリングでは、パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティングについて学び、「書く」能力を磨きます。		○	原則不可	
4810111	英語基礎（Listening & Speaking）	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1	8	40	1	1	1	e-learning教材で指定された動画を視聴し、音声に合わせて発話する活動を実施することにより、基礎的なリスニングおよび発話能力を養成する科目です。初級～中級レベルの英語による動画を中心にコースを編成しています。		○	原則不可	
4810120	英語総合（Listening & Speaking）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	40	6	5	1	e-learning教材を通して、英語科教員に必要な「聞く」及び「話す」の能力を身につけます。また、プレゼンテーションの方法を学び、スクーリングでは、実際にプレゼンテーションを行うことで、「話す」能力を磨きます。		○	原則不可	
4810130	異文化理解	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	40	6	5	1	文化の多様性及び異文化交流の意義について意見交換をしながら理解を図ります。英語科学習指導要領の変遷を知り、「異文化理解」のコンセプトが現在大きく変化していることを理解することが大前提になります。		○	原則不可	
4810140	異文化間コミュニケーション	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-2	8	40	2	5	1	基本となる視点や理論を学ぶとともに、他者への共感と他者理解の重要性について考えを深めます。また、実践的なコミュニケーション能力の育成も図るとともに、自文化を相対的に捉える視点を養います。		○	原則不可	
4810150	英語演習（1）	Webライブ	2	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	40	9	5	1	BBC（イギリス公共放送）ニュース映像を使ったテキストで、イギリス内外の情勢に触れながら、一般人の英語（主にイギリス英語）の聞き取りを含む高度なリスニング力や発信力（論理的な英文エッセイ作成）を養います。	原則、隔年開講となるため、再履修はできません。	○	原則不可	
4810160	英語演習（2）	2025年度非開講	2	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	40	9	5	1	オンライン教材を使い、高校英語科のクラスでどのような質問を発すべきか、教材をどのように扱えば、自律的学習が可能になる野かを学びます。SCでは、希望する校種の教科書を使い、模擬授業を行います。	原則、隔年開講となるため、再履修はできません。	○	原則不可	
4810170	英語科指導法Ⅰ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2	8	40	5	5	1	小学校英語が始まったことから、中学校・高校の英語教育も大きく変わりました。何がどう変わって、英語科ではどのような教育が求められているのか、小・中・高の一貫した流れも考えながら、全ての前提となる基本を学びます。	教職課程登録者のみ履修可能です（教職課程未登録者の履修はご遠慮ください）。	○	原則不可	
4810180	英語科指導法Ⅱ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3	8	40	8	5	1	英語科指導法Ⅰの内容を踏まえ、英語科の指導と評価の計画、学習指導案の作成方法について理解するとともに、5つの領域の実践的指導の具体例の考察を通して、効果的な言語活動の指導法を学びます。	理解を深めていただくため、「英語科指導法Ⅰ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、各スクーリングの受講期間を十分にあげ、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に学修完了できるような計画を立ててください）。また、教職課程登録を行っていない方の受講はご遠慮ください。	○	原則不可	
4810190	英語科指導法Ⅲ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3	8	40	8	5	1	英語科指導法Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえて、領域を統合した言語活動の指導法、アクティブ・ラーニングについて学びます。指導と評価の一体化について理解を深め、パフォーマンス評価について実践的な知識を身につけます。	理解を深めていただくため、「英語科指導法Ⅱ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、各スクーリングの受講期間を十分にあげ、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に学修完了できるような計画を立ててください）。また、教職課程登録を行っていない方の受講はご遠慮ください。	○	原則不可	
4810200	英語科指導法Ⅳ	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					4	8	40	0	5	1	指導法Ⅰ～Ⅲを履修し、教科書で教える授業が十分に理解できている方が、手持ちの引き出しを増やすために、帯活動、投げ尾込み活動や隙間活動を実践を通して学ぶ、指導法総仕上げのクラスです。	理解を深めていただくため、「英語科指導法Ⅲ」を履修した後に履修してください（同時登録は可能ですが、各スクーリングの受講期間を十分にあげ、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に学修完了できるような計画を立ててください）。また、教職課程登録を行っていない方の受講はご遠慮ください。	○	原則不可	
4810211	国際英語	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	40	6	1	0	国際英語が指す内容だけでなく、国際英語に関連する領域にも触れながら理解を深め、国際英語とどのように接していったらいいのかを考察していきます。		○	原則不可	
4810220	資格英語（TOEIC）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-4	8	40	7	5	0	TOEICは現在の日本の就職活動で最も参照される英語能力試験です。この科目では平均的日本人よりやや高い600点を目標としてe-learning教材で頻出問題の演習を行い、スクーリングでは実践的な試験対策のコツを学びます。		○	原則不可	
4810230	日本語教育	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1	8	41	1	5	0	外国人に日本語を教える「日本語教育」の基礎的な知識の修得と、母語として無意識に修得した日本語の言語的特徴を客観的に見直す視点の育成を目指します。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。	○	原則不可	
4810241	言語学	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1	8	41	1	1	0	言語学はことばを音声、形態、文法、意味、運用などさまざまなアプローチで科学的に分析していく学問です。日常使用していることばを客観的に再認識し、言語の深淵を探っていきます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。	○	原則不可	
4810250	日本語学（1）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	41	6	5	0	日本語の音声的特徴がどんなものか概観し、外国語として学ぶ際にどんな問題が起きうるか、教員ができる役割は何か、共に考えを深めます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。	○	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

2025/3/25掲載

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。
 ※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC＝スクーリング、Webライブ＝Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場＝会場で受講するスクーリング、オンデマンド＝動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス＝自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習＝各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次＝正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング＝科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書＝詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い						
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④	⑤			
4810260	日本語学（2）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	41	6	5	0	「文字表記・語彙」について、更に深く学ぶことを目的とし、日本語を教える際に必要な「文字表記・語彙」の知識を幅広い面から考察していきます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。		○	原則不可	
4810270	日本語学（3）	Webライブ	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	41	6	5	0	「文法」について、更に深く学ぶことを目的とし、日本語を教える際に必要な「文法」の知識を幅広い面から考察していきます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。		○	原則不可	
4810280	日本語教授法	Webライブ	2	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	41	9	5	0	日本語教育で用いられている、日本語を日本語で教える「直接法」の実践、さまざまな教授法の理解、カリキュラムデザインの構成等、学習者に日本語を教えるうえで必要な「教え方」を具体的に考えます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。		○	原則不可	
4810290	日本語教育演習Ⅰ	Webライブ	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	41	9	3	0	会話、発音、聴解の指導法、授業での具体的な練習方法を学び、グループワークでのプチ模擬授業を通して受講者同士で考察し、指導法の理解を深めていきます。	日本語教師養成コース履修者かつ要件を満たした学生のみ受講可能な科目です。履修する科目の順番が決まっています。		原則不可	原則不可	
4810300	日本語教育演習Ⅱ	Webライブ	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	41	9	3	0	文字言語の指導法、学習者に理解しやすい指導法とは何かを実際にプチ模擬授業を通して気づき、理解していきます。受講者同士で教案作成を行い教育実習用の教案を作成していきます。	日本語教師養成コース履修者かつ要件を満たした学生のみ受講可能な科目です。履修する科目の順番が決まっています。		原則不可	原則不可	
4810310	日本語教育実習	会場	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	41	9	2	0	前期、後期での学修の総括として、チームティーチングで外国人学習者に授業を行います。模擬授業、フィードバック、教案修正の繰り返して授業の導入から展開、定着までの一連の流れをつかみます。	日本語教師養成コース履修者かつ要件を満たした学生のみ受講可能な科目です。履修する科目の順番が決まっています。		原則不可	原則不可	
4810320	日本語授業実践演習	Webライブ	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					3-4	8	41	9	3	0	教育実習での自分自身の授業、他者の授業を客観的に分析し、改善方法を考えます。授業を振り返る方法を学び、教育実習で使用した教案を修正し、授業を見直す視点を育成していきます。	日本語教師養成コース履修者かつ要件を満たした学生のみ受講可能な科目です。履修する科目の順番が決まっています。		原則不可	原則不可	
4810331	地域研究入門	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1	8	42	1	1	0	現実世界の諸課題を学際的に研究する地域研究のアプローチを学び、グローバル及びグローバルな課題を多角的・批判的に考察する思考力を身につけることを目指します。			○	原則不可	「地域研究入門（期間限定）」を履修
4810341	地域と食文化	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	42	6	1	0	私たちの暮らしと地域に根づく食と農の文化を、グローバル化する世界との連関性から読み解き、ローカル・グローバルな視点から持続可能な未来に向けた食農のあり方を考察します。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4810351	国際観光論	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	42	6	1	0	21世紀は観光の時代とも呼ばれています。国際観光はどのような歴史的・社会的背景をもち、文化的な問題や可能性があるのか、日本と世界の事例から考えていきましょう。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4810360	移民と社会	オンデマンド	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	42	6	5	0	現在日本には、技能実習生や留学生など働く外国人が数多くいる他、外国にルーツを持つことも増えています。彼らをどう受け入れ活力ある社会を作っていくか考えます。	日本語教師養成コースの科目です。履修する科目の順番が決まっています。		○	原則不可	
4810371	風土と場所文化	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	42	6	1	0	グローバルな市場経済が人々の暮らしの土台さえ奪ってしまう状況の中で、独自の「場所文化」を持った多様な地域が循環共生型の社会を構築し、グローバルに共生する形を考えます。			○	原則不可	
4810381	比較文化論	-	2	0	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					2-3	8	42	6	1	1	異なる国の文化を比較し、相互の関係性やその影響を研究する科目です。そして重要なことは、その成果をいかに活かしていくかということです。			○	原則不可	2025年4月以降、再履修も不可
4810390	グローバルコミュニケーション特別講義	科目による（学修指導書で提示）	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	42	4	3	0	その年のホットな話題を題材として「共生」への理解・学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けていますが、他専攻の学生も履修することが可能です。専攻での学修の入り口となる内容、専攻での学びをさらに深める内容のプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401010	共生科学実践特別演習（1）	科目による（学修指導書で提示）	1	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401020	共生科学実践特別演習（2）	科目による（学修指導書で提示）	2	0.5	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401030	共生科学実践特別演習（3）	科目による（学修指導書で提示）	2	1	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401040	共生科学実践特別演習（4）	科目による（学修指導書で提示）	2	2	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401050	共生科学実践特別演習（5）	科目による（学修指導書で提示）	4	4	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4401060	共生科学実践特別演習（6）	科目による（学修指導書で提示）	8	8	グローバルコミュニケーション 専攻科目群					1-4	8	43	4	9	0	通常のスクーリング（講義）では学修できない、実践的な「現場」での実践的な学びを深めることを目的としています。各専攻科目群に位置付けており、所属する専攻によって単位を認定する専攻が変わります（科目等履修生が履修する場合には共生科学専攻科目群での修得になります）。専攻の枠組みを超えた学修ができるプログラムです。	毎年、内容が異なる科目です。内容が決まり次第、学修指導書を学生ポータルサイトに掲載します。履修登録の詳細も学修指導書でご確認ください（通常の履修登録とは異なる手続きとなる場合があります）。		原則不可	応相談	
4910010	介護等の体験	実習	1	1	資格関連科目群					2	8	55	5	2	1	介護等体験を行う	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。		原則不可	原則不可	

2025年度 開講科目一覧（24カリキュラム）

【カリキュラム移行に伴う再履修の取り扱いについて】

※19・20カリキュラムの科目として前年度に新規履修した科目で、年度内に取得できなかったものは再履修の対象となります。 ※下表に注意書きがない科目は通常通り再履修してください。 ※24カリキュラムで開講しない科目は再履修できません。

※注意書きが付されている科目は再履修するか、新規履修とするか、履修科目登録時に選択可能です。**再履修する場合には、下表の「再履修の取り扱い」欄にある科目で履修科目登録を行ってください。**再履修を行うと19・20カリキュラムでの単位数での単位修得、新規履修する場合には24カリキュラムの単位数での単位修得となります。

【用語の説明】スクーリング形式や日程確認の方法・受講方法などの詳細は学生ハンドブックにも掲載しています。不明点は学生ハンドブックで確認してください。

SC=スクーリング、Webライブ=Zoomを使った対面形式のスクーリング、会場=会場で受講するスクーリング、オンデマンド=動画を視聴期間内に各自で視聴するスクーリング、ハイフレックス=自宅（Webライブ）で受講する学生と会場で受講する学生がいるスクーリング（各受講形式に定員の設定があります）、実習=各自で行う実習等をスクーリングの時間数として充てます（詳細は各科目の学修指導書参照）、履修年次=正科生の場合に履修を推奨する年次を示しています、科目ナンバリング=科目の科目区分、水準・順次性、授業形態を表しており、科目同士の接続関係を示します、健康診断書=詳細は学生ハンドブック「健康診断書」の項目を確認してください。

※1 は19・20カリキュラムから単位数が変動した科目

科目コード	科目名	2025年SC方式 <small>※SCの設定がある科目について、別途テキスト学修も必要です。学修の順番は学修指導書で確認してください。 ※SCがない科目はテキスト学修のみとなります。</small>	単位数		科目ナンバリング					科目概要	履修登録時の留意点	健康診断書の提出要否	再履修可否	特修生の履修可否	19・20カリキュラムから移行した学生の再履修の取り扱い		
			総単位数	SC単位数	区分1	区分2	履修年次	①	②							③	④
4910020	教育実習（中等）I（1）	実習+Webライブ	5	5	資格関連科目群		4	8	55	0	9	1	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。	原則不可	原則不可	
4910030	教育実習（中等）I（2）	実習+Webライブ	3	3	資格関連科目群		4	8	55	0	9	1	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。	原則不可	原則不可	
4910040	教育実習（中等）II	実習+Webライブ	3	3	資格関連科目群		4	8	55	0	9	1	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。	原則不可	原則不可	
4910050	教育実習（特別支援）	実習+Webライブ	3	3	資格関連科目群		4	8	55	0	9	1	テキスト、スクーリングでは教育実習の意義や学習指導案等について学び、特別支援学校の教育実習では具体的な指導内容、方法等について学ぶ。これらの学びを通して、教師になろうとする意志を高めていきましょう。	通常の履修登録とは異なる手続きが必要となる科目です。学生ポータルサイトの案内を確認してください。	原則不可	原則不可	
4910060	教職実践演習（中等）	1・2日目：Webライブ 3・4日目：会場	2	2	資格関連科目群		4	8	55	0	9	1	待望の教員になるためのステップを登りつめてきたみなさんが、さらにステップアップして立派な教員になるための資質や能力を磨いていくための学びです。		原則不可	原則不可	